

## 森と水の研修 ～ 貴重な森と水資源を科学する ～

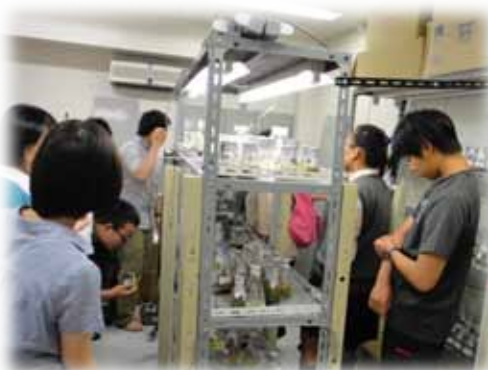
2014年8月25日 発行

日程：2013年8月18日(月)～21日(木) 3泊4日

場所：熊本大学理学部・屋久杉自然館・屋久島白谷雲水峡・水俣病資料館

熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター瀧尾進先生，岡山理科大学小原比呂志先生の支援を受け，世界遺産の森での自然体験や水の調査を通して，人の生活と地球の自然環境について理解を深め，科学的な探究力を身につけることを目的として実施しました。中学生7人，高校生6人の合計13人の生徒が研修に参加しました。

### 8月18日(月)1日目



熊本大学理学部研究室にて

### 8月19日(火)2日目



屋久島・モッコヨム岳前にて



屋久島・湧水の水の調査

### 8月20日(水)3日目



屋久島・太鼓岩にて



屋久島・白谷雲水峡にて

### 8月21日(木)4日目



熊本・水俣病資料館にて

### 生徒の感想

- ・瀧尾先生の講義から，熊本が日本一の地下水都市であることやGelk(地下水環境リター育成)のしくみを初めて知った。水について全く興味がなかったが，少し考えようと思った。
- ・屋久島で約10か所の水質調査をして，その水の殆どを呑むことできて，感動した。
- ・白谷雲水峡の太鼓岩からの景色がきれいで，頑張って登ったかいがあったなと思った。登山の途中の冷却クラックや珍しいコケなどが珍しく，すごかった。
- ・水俣病資料館に行くタクシーの中で，運転手さんと水俣病について話げできた。社会の授業で習うものと，実際に行ってみると感じかたが全然違った。